

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名 大久保ゆみ

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
障害者施設支援事業	令和 6 年 4 月 10 日 足利市田島 ココ・ファーム ワイナリー農場長 越智眞智子氏 参加議員 大谷弥生・湯沢英之 (1) 問題点 知的障害者の雇用先においてどのような業務についているのか調査を実施した。 (2) 活動について 成人対象の知的障害者更生施設「こころみ学園」の取組みはワイン作りに関わる人が誇りをもって働き、誰もが幸せに暮らす会社として 知的障害者の方々によるワイン作りやブドウ栽培の一部をココファームがこころみ学園に業務委託している。 作業場所の見学を実施し、農場長の越智眞智子氏と意見交換を行った。 (3) 活動結果について 軽度知的障害を持つ方が職場において活躍するためには、職場が理解と配慮を深め、適切な支援体制を整えることが重要だと感じ、障害者雇用や福祉的就労などの選択肢を検討し、自分に合った働き方を見つけることが大切です。 ココ・ファームでは従業員の方々が生き生きとした生活を送っており、今後の栃木県での取り組みにおいて十分に参考になった。 (4) 活動の活用について 行政側に対しては補助金の活用について検討し今後継続して調査を実施することになった。

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名 大久保ゆみ

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
障害者施設支援事業	令和 6 年 5 月 16 日 千葉県千葉市 稲毛駅前重症心身障害児支援事業所ボヌール 児童発達支援管理責任者 伊藤千家子氏 (1) (目的) 重度の障害児童を扱う施設においてどのような取り組みが実施されているか調査を実施することになった。 (2) (活動について) 重症心身障害児支援事業所『ボヌール』の見学 児童発達支援管理責任者、看護師、作業療法士、児童指導員からなる、重度の障害を持つ未就学児の支援施設を見学し今後の課題について意見を伺った。 併設する保育園(ナーサリーホーム)の保育に参加したり、交流もしておりナーサリーホームも見学し意見交流を行った。 (3) 活動結果について 障害児保育の課題 障害児保育施設は増加傾向にあるものの、課題がたくさんあり、問題点として障害児の対象にならない子供がいる・園での受け入れ態勢が整ってないなどが挙げられている。さらに、課題となっているのは、支援する側の知識不足・経験不足等が挙げられた。 (4) 活動の活用について 行政側には施設への支援が出来ないか検討し 今後も継続して調査を実施する。
産後ケア調査事業	令和 6 年 5 月 16 日 千葉県千葉市 共立習志野病院 総務課 井上智子氏 (1) 目的 産後ケアについて お母さんの出産後のケアをどのように実施しているのかを調査 (2) 活動について

	産前産後のケアをエクササイズにおいて 産婦人科とのプログラム(産前産後エクササイズクラス)の打ち合わせを実施。 (3) 活動結果について 具体的な例として短期入所（ショートステイ）型：お母さんと赤ちゃんが助産院等に宿泊すること、デイサービス型：お母さんと赤ちゃんが助産院に行き、数時間のケアを受けること、アウトリーチ（訪問）型：助産師が利用者の自宅に訪問し、数時間のケアを施すこと等がある。 母親の身体的な回復のための支援、授乳の指導及び乳房のケア、母親 の話を傾聴する等の心理的支援、新生児及び乳児の状況に応じて具体的な育児指導、 家族等の身近な支援者との関係調整、地域で育児をしていく上で必要な社会的資源の 紹介等を行う等が挙げられた。 (4) 活動の活用について 行政側としては母親と新生児の支援をどのようにできるか検討する。今後も継続して調査を実施する。
--	---

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
森林保全事業	令和 6 年 6 月 22 日 静岡県熱海市 自然の森 NPO 法人キコリーズ 能勢友歌さん 田中雄一郎さん 石渡照久さん 茨城県議会議員 長田麻実 東京都議会議員 松田龍典 (目的) 栃木県においても林業の担い手不足により、近い将来、林産業に影響がでる可能性が考えられるため、担い手不足を解消した団体にて調査を実施した。 (活動) 然郷に隣接する活動場所の私有林や間伐作業およびウッドデッキがあるアダムグリーンフィールドの見学を実施。 若い世代の林業の担い手不足や同 NPO 法人の取組みについて意見交換を行った。 (結果) 特に副業きこり団体の取組みは栃木県でも活用して林業の担い手を確保できる重要な政策になると期待できる。しかし林業就業者数の減少は、木材価格の下落等により林業採算性が悪化する中、森林所有者の経営意欲の低下により林業生産活動が停滞してきたこと、また 伐採量の減少と森林資源の成熟が進む中で、人手を要する植付や下刈などの造林作業の事業量が減少してきたことを反映したものと考えられることがわかった。 (活用) 林業の担い手不足により、栃木県においても近い影響があると考えられる。 今後も継続して調査を実施する。

森林・林業・林産業活性化事業	令和7年2月13日 茨城県水戸市宮町ホテルレイクビュー水戸 茨城県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 （目的） 栃木県においても林業は重要な産業であるので、茨城県の活性化議員連盟の取組みを勉強し調査を実施した。 （活動） 森林は私たちの生活にかけがえのない財産であり、また地球温暖化防止や国土強靱化、生物多様性の保全などにも大いに貢献するものである。 栃木県として森林の整備・林業・林産業の活性化並びに山村の振興を促進するため現地において茨城県議会森林・林業・林産業活性化促進議員連盟と意見交換を実施した。 （結果） 森林は、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化防止、木材の生産等の多面的機能を有した大切な資源であり、地球環境や社会・経済の持続性への危機意識を背景として、栃木県においても、持続可能な開発目標への関心が高まりをみせていると感じます。 今後は森林・林業・林産業関係者に加え、様々な企業や個人が森林に関わり、また行政の立場からも各種取組が活性化するよう後押ししていくことが重要であると認識した。 （活用） 今後も行政として継続して調査を実施する。
-----------------------	--

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名 大久保ゆみ

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
栃木県消防防災事業	令和 6 年 7 月 30 日 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 128-1 県消防防災課航空担当 小堀伸彦課長補佐 (目的) 栃木県においては災害が多く発生している。災害による被害を未然に防ぎ、被害を最小限に抑えること。 災害発生メカニズムを理解し、予測や予防を行うこと、災害発生時の人命救助や消火活動など、被害の拡大を防ぐための応急対策、被災した地域の復旧・復興、被災した人々の生活再建などを必要とするため調査を実施。 (活動) 県消防防災ヘリ「おおるり」の現地調査及び航空隊の活動状況調査 航空隊の概要、機体、資機材の説明をしていただき、今後予想される災害などの対応について現地担当者と意見交換を行った。 (結果) 防災は、自然災害だけでなく、火災や交通事故などの人的災害に対しても同様に必要であり、誰にでも起こりうる災害から、自らの生命や財産、地域の暮らしを守るためには、<u>個人、地域、政府が連携し、防災意識を向上させ、防災対策を講じることが不可欠だと理解した。</u> (活用) 今後も継続して調査を実施

10 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
障害者施設支援事業	令和6年8月18日 埼玉県上尾市上平中央 バリアフリービクス協会 西沢 淑元 (目的) 障害者と健常者が一緒に、運動やコミュニケーションを通して、互いの理解を深め、共に楽しむことができる場を提供すること。具体的には、基礎体力の向上、ストレス解消、そして社会とのつながりの強化を目的とする活動の調査を実施。 (活動について) バリアフリービクス協会 会長 西沢 淑元 体育館において障害者の方々のバリアフリービクスを見学した。 その後、特別支援学校や児童デイサービス、行政サービスについての意見交換を実施した。 (活動結果について) バリアフリービクスの基本は、障害を取り除くのではなく、全ての人が一緒に楽しみ、コミュニケーションを育むことができるということだとわかり、 日常生活の動作に、スポーツの要素・動きをプラスして基礎体力の向上とストレス解消を促進すること、 また、イメージトレーニングを兼ねることでスポーツへの興味・関心を深めていくことがわかった。 (活動の活用について) 栃木県においても今後、障害者スポーツに関してバリアフリービクスを活用できる機会を設けたいと思います。 今後も継続して調査を実施し栃木県にも活用していきたい。

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
ダイバーシティ推進事業	令和 6 年 9 月 1 日 茨城県取手市 石井あきら事務所 日本維新の会ダイバーシティ推進局長 (目的) 企業や組織が、性別、国籍、年齢、障がいの有無、価値観など、様々な属性を持つ人材を積極的に受け入れ、その能力を発揮できる環境を整備し、組織全体の活性化と成長を目指す取り組みであり、具体的に、多様な人材を雇用し、公平な評価制度を導入し、誰もが働きやすい環境を整えることが世の中の課題であるため、日本維新の会主催のダイバーシティ勉強会にて調査を実施した。 (活動) 栃木県での男女共同参画審議委員として、今後のダイバーシティの未来や今できること等、日本全国の議員と意見交換を実施した。 (結果) 多様な人材の受け入れに焦点を当て、多様な人材を組織内で活かすための環境づくりに焦点を当てること等、今後の課題となる視点が見えてきた。 その他、無意識の差別や偏見、価値観の違いによる対立、コミュニケーションの難航などがあることがわかった。 (活用) まずは栃木県における調査を検討し、今後もダイバーシティに関しての勉強会に積極的に参加し、調査を実施する。

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名 大久保ゆみ

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
学校教育の現状 把握事業	令和 6 年 9 月 30 日 宇都宮市平石北小学校 二宮校長 (目的) 日本の学校教育には、教員の負担軽減、生徒の多様化への対応、学びの質向上、地域との連携強化など、様々な課題があり、実際の現場での状況を把握するため調査を実施した。 (活動) 教員の待遇、現状の働き方、生徒保護者の内情等を現地教員と意見交換を実施した。 (結果) 社会の急激な変化が進む中で、子供が予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を育成するため、学校教育の改善・充実が求められている。また、学習指導のみならず、学校が抱える課題は、より複雑化されており、急速な社会の流れに対応できるよう、教育改革を実施することが急務と感じた。 (活用) 今後も継続して調査を実施

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名 大久保ゆみ

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
農業支援事業	令和 6 年 10 月 9 日 千葉県千葉市美浜区中瀬 幕張メッセ RX ジャパン (目的) 日本の農業は、高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加、TPP による競争激化など多岐にわたります。これらの課題に対し、スマート農業の導入や大規模化、ブランド化、そして 6 次産業化などが提唱されており、今現在の最先端の農業を調査することとした。 (内容) 900 社の農業、畜産製品の見学。 農業ドローン、スマート農業関連製品、有機肥料などが出店され環境に配慮した SDG s を意識した製品の見学を実施した。 (結果) スマート農業導入の最も大きな目的として挙げられるのは、なんといっても生産効率の向上です。これまでの農業では手作業で行われていた生産管理や出荷前の検品等を、AI や IT 技術を使って行うことでより速く、より精緻に行えるようになることが実際の最先端技術を見学し理解できた。 (活用) 栃木県においてスマート農業はまだまだ発展途上段階である。今後担い手不足などからスマート農業を取り入れることは急務であると感じ、今後も継続して調査を実施することにした。

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
緊急医療調査事業	令和 6 年 11 月 14 日 宇都宮市 済生会宇都宮病院 緊急・集中治療科栃木県緊急救命センター (目的) 栃木県における緊急医療について市民から要望が多く寄せられており、実際の現場での調査を実施した。 (活動について) 救急救命センターの小倉医師に現状の栃木県内の緊急医療に関わる問題点、 その他職員の働き方、待遇など、現在の医療体制について意見交換を実施。 (結果) 医師不足:救急医療を担う医師の不足は、全国的な問題であり、栃木県でも課題となっている。 救急患者の増加:高齢化が進むにつれて、救急患者の数が増加しており、医療機関の負担が増加している。 救急搬送の遅延:救急車が病院に着くまで時間がかかったり、十分な体制が整わない場合、患者の命にかかわる事態が起こる可能性がある。 (活用) 今後も継続して調査を実施。

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名 大久保ゆみ

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
移住・交流推進事業	令和 6 年 12 月 8 日 東京都江東区 一般社団法人 移住・交流推進機構 (目的) 都市から地方への移住や都市と農村漁村地域の交流を推進し、人口減少社会における地域の活動について調査を実施する。 (活動について) 移住・交流を積極的に受け入れている自治体や町おこし協力隊を募集している自治体の担当者と直接お話をする機会をいただき意見交換会を実施した。法人ブースでは地域活性化に取りくむ企業との貴重なお話を聞くことが出来た。 (活動結果について) 地方へ移住・定住する際の課題として、収入減や、自分に合った仕事が見つからないなど「仕事」の課題が挙げられます。 実際に移住を希望している土地へ赴いて仕事を探す必要がある場合も少なくありません。 しかし近年、多くの企業がリモートワークを導入し、「リモートワーク移住」を支援する自治体の補助金や支援制度が設けられました。その結果、転職をせずに地方移住を叶える方も増えているとのこと。 居住に関することでは東京と比べて地方には賃貸住宅が少なく、居住地を見つけることが難しいこと。 一方で、地方には空き家対策の課題も存在し、これを上手く活用すれば住居不足の解消につなげられる可能性もあることがわかりました。 他には住む場所だけではなく、移住後に地域の習慣や人間関係に馴染めるか不安に思う方も多いという課題もあり、 地方移住における受け入れ体制の課題として、移住者が新しい地域で「ヨソモノ」として扱われることへの不安や不信感が挙げられます。 自治体が移住・定住の促進による人口増加や地域振興を期待する一方で、地域住民は文化やコミュニティの変化に対し不安を抱えている場合もあり、また、移住者のニーズと地域の提供できるサービスが一致しないことも問題です。 さらに、公共交通機関・教育施設・医療機関や福祉施設の不足も大

	きな課題であり、これらの充実なくして、移住者やその家族の安心安全な生活の確保は難しいと考えます。特に、子育て世代にとって教育環境が整備されているかどうかは、非常に重要なポイントであることが調査の結果わかりました。 （活動の活用について） 栃木県でも活用できるよう今後も継続して調査を実施する。
--	---

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ 大久保ゆみ

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
子育て支援・女性活躍推進事業	令和6年12月23日 東京都中央区銀座 株式会社マザーズ (目的) 働くお母さんにとって、保育園や幼稚園への預け先を選ぶことは、子育てと仕事のバランスを考える上で非常に重要な選択です。保育園は時間的な融通が利きやすく、仕事の都合に合わせやすい一方、幼稚園は教育的な側面が強く、子どもとの関わりを重視したい場合に適しています。また、最近では、保護者の就労状況に関わらず、未就園児を預けることができる施設もあります。実際の現場を調査することで状況を把握することにした。 (活動について) イベント託児、一時預かり、保育、イングリッシュスクールを運営する株式会社マザーズにて、働くお母さんが安心して子育てができるよう、現地施設の見学を実施し、現場で働くスタッフの方の苦労や、子育て中のお母さんの実際の声を聞いて、今後の子育て支援・女性活躍について意見交換を実施した。 (結果) 働くお母さんをサポートする制度として以下の4つがありました。 一時預かり保育:急な用事や仕事の都合で、短時間だけ子どもを預けられること。 病児保育:病気や病後の子どもを預けられること。 こども誰でも通園制度:保護者の就労状況に関わらず、未就園児を時間単位で預けられること。 企業主導型保育所/事業所内託児所:企業が運営する保育施設で、子どもの送り迎えが楽になる場合などがある。 (活用について) これらの課題は行政もしっかりと取り組むべき最優先課題であると位置づけ、今後も継続して調査を実施することとした。

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名 大久保ゆみ

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
スポーツ復興・ 推進事業	令和7年1月22日 東京都千代田区衆議院議員会館 衆議院議員 藤田ふみたけ (目的) 地方公共団体は、スポーツの振興において重要な役割を担っており、住民のスポーツへの参加促進、地域スポーツクラブへの支援、地域スポーツコミッションの活動支援、スポーツを通じた地域活性化、スポーツ施設の整備など、様々な活動を通じて、地域社会の活性化と住民の健康増進に貢献しているが、それは人口の多い地域であって、今後過疎化が進む地域においてはどのような取り組みが必要か調査を進めていきたい。 (活動について) 地域の実情に応じて地方公共団体が実施するスポーツを通じた健康増進に資する取組を支援すべく、栃木県としてより多くの地方公共団体がよりよい取組を実施できるよう役立てることを目的に、藤田ふみたけ衆議院議員と意見交換を実施した。 (活動結果について) 地域住民のスポーツへの参加率が低下し、スポーツの振興が停滞する状態を指し、これは、少子高齢化や高齢化、若年層の流出などによって、スポーツの参加人口が減少している。また、スポーツ施設の老朽化や利用率の低下、スポーツ団体の活動力の低下などが原因として考えられる。 (活動の活用について) 行政に対しては過疎化が進む地域には早急な対策を立てるよう要望していきたい。 今後も継続して調査を実施する。

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名 大久保ゆみ

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
外国人問題調査事業	令和 7 年 3 月 20 日 埼玉県川口市小谷場 衆議院議員 高橋英明 (目的) 日本において不法移民などが滞在しており、そのため市民が不安を抱いていることが昨今多くあるため、埼玉県川口市で問題になっている不法移民の調査を実施した。 (活動) 外国人問題に取り組む高橋英明衆議院議員に身近に実際の問題点について傾聴し、今後の対策について意見交換を実施した。 (結果) 埼玉県川口市・蕨市でクルド人の迷惑行為が問題になっている。彼らは短期の観光ビザで入国し、難民申請をして日本に留まっていることがわかりました。彼らは難民と言えず、政治的な迫害から海外へ出るクルド人は非常に少なく、ほとんどは経済的理由からの移住だという現状がわかりました。いわゆる「難民」に当てはまるケースは、ほとんどない。 現段階でも地域でクルド人による犯罪が発生しており、地元住民は生活が脅かされており、埼玉県における今の現状と今後栃木県などでも予想される外国人問題について意見交換を実施した。 (活用) 栃木県においても不法入国者が多発しており、今後行政と市民が連携しながら対策をとることが急務であると考えます。 今後も継続して調査を実施する。

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名 大久保ゆみ

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
介護福祉調査事業	令和 7 年 3 月 23 日 茨城県取手市 特別老人ホーム めぐみの杜 (1) 問題点について 介護福祉に従事する職員は肉体労働が基本であり、かつ高齢化が進んでいる。現場で従事する職員の定着率が低く、介護現場が成り立たない問題について調査することになった。 (2) 活動について 従業員の高齢化も進み一人ひとりの作業労働にもかなり身体的な負担がかかりつつあり、今後福祉業界で予想される労働力不足や身体的な負担を軽減すべく介護ロボットの見学を実施しました。 その際、現状の福祉施設の問題点や今後の福祉ロボットの活用方法などの意見交換を実施した。 (3) 活動結果について 介護ロボットは、介護人材不足や業務負担の軽減に大きく貢献する技術だが、導入コストの高さや現場ニーズのずれ、情報不足、操作習得の難しさなどが普及の要因となっている。 金額を調査したところ、装着型で 50 万から 200 万円、非装着型で 9 万から 120 万円となった。 (4) 活動の活用について 行政側では補助金の有効活用を検討し、現場ではニーズに合わせたロボットの開発が必要である。 今後も継続して調査を進めていくことになった。

1 0 . 政 務 活 動 報 告 書

議員名又はグループ名 大久保ゆみ

項 目	活 動 内 容 ・ 成 果 等
健康促進事業	令和 7 年 3 月 27 日 東京都港区六本木 住友不動産グランドタワー24F DMM.com イベントスペース 株式会社 hacomono 白井紀之氏 (目的) 栃木県でも県民の健康促進とコミュニティ形成は重要な政策課題です。特に人口減少が進む地方ではスポーツを通じた地域活性化は単なる健康づくりを超えた価値を持っています。栃木県でも重要な課題であるため調査を必要とした。 (活動について) スポーツには世代や立場を超えて人々をつなぐ力があります。健康促進事業に積極的に取り組む株式会社 hacomono さん主催の Well ness V i s i o n C a m p に参加し、多くの参加者の意見を清聴し、栃木県が今後取り組む事業として意見交換を実施した。 (活動結果について) 栃木県として出来ること スポーツの振興と多様なスポーツ活動の機会の提供 スポーツ団体やスポーツ関連組織との連携 プロや実業団を活用した地域活性化 スポーツツーリズムの推進 を柱に栃木県でも取り組むべき課題であることがわかりました。 (活動の活用について) 企業と栃木県を繋ぐ役割を担っていきたい。 今後も継続して企業と打ち合わせを重ね、栃木に誘致するための活動を実施する。